

カリキュラム・ポリシー

経営学部では以下の方針に基づいてディプロマ・ポリシーと各授業科目の到達目標の関連を明確にしてカリキュラムを設計している。

- ① 経営分野で世界標準になっている科目を必修科目とし、コース別科目でさらに専門性を高める。【知識・理解】
- ② ビジネスで活用できる英語力を獲得するために、4技能を高めるELF (English as a Lingua Franca)科目と英語で経営学を学修する科目を配置して相互に連携を図る。【汎用的技能】
- ③ 世界の文化・社会に関心を持ち、グローバル社会において自らの意見・考えを発信できる科目を設置する。【態度・志向性】

カリキュラムの特徴

 単位のしくみ
p.11

 履修の制限
p.32

1 3コース制による専門教育

国際経営学科では、「グローバルビジネスコース」「国際会計コース」「マーケティング戦略コース」の3コースを設置し、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）（p.102 参照）に基づく学修教育目標を達成するためのカリキュラムを編成しています（「コース概要」（p.106～111）参照）。

2 Dual Language Program (DLP) による学び

Dual Language Program (DLP) とは、日本語・英語両言語を通して、経営学を学ぶ学修アプローチです。すべての科目で、両言語を活用した学修が行われます。英語表記の科目は、英語による授業が行われます。この学修アプローチによって、経営分野で必要な知識・スキルを修得し、グローバル社会で求められるアイディアの創造とその発信力をより高いレベルで養成することができます。



3 専門教育で必要とされる英語力の養成とSAE留学との連携

世界標準の経営学を学び、ビジネスで活用できる英語力の養成をめざした科目が設置されています（「英語科目の履修について」（p.104）参照）。また、早期のSAE留学プログラムへの参加も可能となります（「海外留学制度について」（p.22）参照）。

4 科目の構成

経営学分野で求められる能力を体系的に修得できるように科目が設置されています。卒業までに履修できる科目は、「ユニバーシティ・スタンダード（US）科目」「自学科科目」「他学部他学科科目」「他大学との単位互換科目」から構成されています。

5 科目内容

ユニバーシティ・スタンダード（US）科目では、経営学分野の導入科目と英語による国際コミュニケーション能力の養成（学術分野で必要とされる基礎的な英語力養成含む）する科目を必修とし、その他学部指定科目を含む科目を選択履修することができます。

自学科科目は、経営学を学ぶための基幹科目を中心に、学科共通必修科目、学科コース必修科目、学科選択科目から構成されています。また、自学科他コース科目も、相互に履修することができます。興味に応じて、経営学分野と異なる他学部他学科科目（他学部が開講されている科目に限る）の履修も可能です。

英語科目の履修について

1 Dual Language Program (DLP) における英語プログラム

■国際経営学科では、Dual Language Program (DLP) をベースとした専門教育を中心に、グローバルビジネス・リーダーに求められる総合的な英語力養成プログラムを設置しています。

■英語プログラムがめざす学修内容と目的は下記のとおりです。

グローバルビジネス・リーダーに求められる総合的な英語力養成に向けて

- ◇ 英語によるアカデミック・スキル (academic study skills in English) の修得
- ◇ 英語による経営学分野の知識 (understanding business principles in English) の獲得
- ◇ 英語による批判的思考力 (critical thinking skills in English) の養成
- ◇ 英語による創造的アイディアの構築と発信 (generating ideas in English)
- ◇ ビジネス領域を含む英語力判定資格試験 (English business proficiency) への対応

2 履修について

■上記の英語力を養成するために学期ごとに学部共通の英語必修科目（33単位）の履修が定められています。

■英語関連の必修科目は、ユニバーシティ・スタンダード科目「ELF」4科目（16単位）、学科必修科目17単位です。また、ユニバーシティ・スタンダード科目の中に学科選択科目（2単位）として「外国文学」が指定されています。

■英語名称の学科科目は、英語で授業が行われます。

■英語以外の学科科目でも、教科書、文献、その他の教材に英語で書かれたものが多く使用されます。

3 科目配置と学修目標

各年次・セメスター別の開講科目と学修目標は次のとおりです。

	専門教育に必要な英語関連科目		専門科目への対応	修得レベル (TOEICを指標とした場合)
4年次	第7 Semester	第8 Semester	英語による専門分野の授業への対応	TOEIC 700点以上
	選択科目としてELF等の履修が可能			
3年次	第5 Semester	第6 Semester	英語による専門科目の学修	TOEIC 600点以上
	選択科目としてELF等の履修が可能			
	English Proficiency Strategies A (EPS A)	English Proficiency Strategies B (EPS B)		
	<ul style="list-style-type: none"> 各種英語資格検定試験のための英語力の養成 専門教育のための英語スタディ・スキルの向上 ビジネスで活用できる総合的な英語力の養成 			
2年次	第3 Semester	第4 Semester	日本語・英語による経営学の学び	TOEIC 500点以上
	ELF	ELF		
	<ul style="list-style-type: none"> General Academic Englishの修得 国際コミュニケーション能力の養成 			
	Business English A	Business English B		
	<ul style="list-style-type: none"> 経営学分野のより専門的な知識獲得のための英語力の養成 より統合的なスタディ・スキルの運用能力と発信力の修得 日常的なビジネス・シーンで使用される中級レベルの口語英語の修得 			
	Intercultural Studies			
<ul style="list-style-type: none"> 日本文化と他文化理解に必要な知識の修得 自己のアイデンティティを生かした異文化対応能力の養成 実際の事例分析を用いた問題解決能力の養成 				
1年次	第1 Semester	第2 Semester	スキル・コンテンツ統合型の英語学修スタイル	TOEIC 450点以上
	ELF	ELF		
	<ul style="list-style-type: none"> General Academic Englishの修得 国際コミュニケーション能力の養成 			
	English for Social Science A (ESS A)	English for Social Science B (ESS B)		
<ul style="list-style-type: none"> 経営学を学ぶための導入レベルの英語の学修 経営学を学ぶための導入レベルのスタディ・スキルの修得 日常的なビジネス・シーンで使用される導入レベルの口語英語の修得 				

コース概要

グローバルビジネスコース

1 「国際経営の専門性」「日本文化の発信力」「英語力」を身につけたビジネスリーダーの養成

グローバルビジネスコースでは就職や海外勤務希望時に有利なTOEICのスコアを高め、4年次に700点を獲得するようにプログラムを設計しています。また企業規模を問わずグローバルに活躍できる人材を養成するために、企業経営者を招聘する科目、ケース・スタディを取り入れた実践的な授業を展開する科目を多く配置しています。各年次に講義、教材、試験等、すべて英語のみを使用して学修する科目を設けて、ビジネスの専門性に加えて英語力を徹底的に高めます。

おもなコース目標と目標達成に向けて軸になる科目は以下のとおりです。詳しい科目配置と学修目標は次ページおよび教育課程表で確認してください。1年次から開講する英語のみで実施する科目で、しっかり基礎を固めましょう。

TOEIC 700点	4年次 Global Case Studies 3年次 グローバルビジネスゼミナールB
TOEIC 600点	3年次 Global Business Studies Strategic Management グローバルビジネスゼミナールA 2年次 専門基礎ゼミナールB
TOEIC 500点	2年次 専門基礎ゼミナールA

2 コースの学びと将来のキャリア

グローバルなコミュニケーションの道具としてビジネスの現場で通用する英語を修得します。グローバルな文脈でビジネスを実践するために必要な共通言語とも言える経済学・経営学・会計学・ファイナンスなどの基本科目を世界標準で学修することで、グローバル化に対応できる問題発見・解決力、批判的思考力、発信力を身につけます。

また異文化・多文化の理解、コミュニケーション力の向上を目標とする科目によって日本語と英語で自らの意見や考えを相手に伝える力を高め、日本文化を海外に発信できる力の修得を図ります。留学を経験すると、英語4技能（Listening、Speaking、Reading、Writing）に加えて国際感覚、異文化対応能力も一段と高まります。（「海外留学制度について」(p.22)参照）

このコースの学びを通して、グローバル展開をすすめる日本企業やすでにグローバル化している外資系企業など、英語が必要とされる多種多様なキャリア、経営、会計、ファイナンスなどに関連する資格を生かして専門性を発揮できるキャリアを形成します。起業や事業後継においてグローバル展開を視野に入れることもできます。

3 科目配置と学修目標

各年次・semester別の開講予定科目と学修目標は以下のとおりです。semesterを特定していない科目は当該年次の春学期または秋学期に開講する予定の科目です。目標達成に向けて、この表を確認しながら計画的に学修を進めてください。

	グローバルビジネス科目 (コース科目+関連科目) ゼミナール科目		学修目標
4年次	第7semester	第8semester	TOEIC 700点 ・海外・グローバル企業で使われている経営理論・知識、海外とのビジネスに対応する力を身につける。 ・グローバル企業で活用できる英語力、経営学の体系的知識習得、海外のビジネス状況の理解、論理的な経営上の思考力を総合的に修得する。
	Global Case Studies コーポレート・ファイナンス グローバルビジネスゼミナールC グローバルビジネスゼミナールD		
3年次	第5semester	第6semester	TOEIC 600点 (第6semester) ・経営管理の知識を体系的に修得する。 (第5semester) ・海外ビジネスを展開している企業の特徴と動向を分析することで、問題を発見し、解決案を提示できる。 ・グローバル企業の実態と戦略を理解する。
	Strategic Management 経営塾	Global Business Studies	
2年次	第3semester	第4semester	TOEIC 500点 ・日商簿記3級(～2年次6月) (第4semester) ・国際会計の基本思考を身につける。 (第3semester) ・簿記の基礎を修得し、決算書を通して企業経営の実態を知る。 ・日本を取りまく地域と異なる文化的背景について理解を深め、ビジネスシーンで自己を生かすことができる。
		国際会計基礎	
1年次	第1semester	第2semester	・TOEIC 450点 ・経営学検定初級(～1年次11月) ・組織、戦略、財務、人的資源管理といった経営の基礎を修得する。
	経営学		

4 コース変更について

2年次秋semester終了時点で、他コースへの変更が可能です。ただし、履修および学修進捗状況に遅れがある場合、卒業時期が1 semester以上先に延びる可能性があります。

国際会計コース

1 金融・ファイナンスに強い「国際会計人」の養成

国際会計コースではBATIC[®]（国際会計検定）で700点（アカウンティング・マネジャー・レベル）を獲得するようにプログラムを設計しています。1年次に簿記・会計の基礎として日商簿記3級、2年次以降は英文簿記・国際会計理論へと学修を進めて3年次春学期までに320点、4年次に700点の獲得を目指します。そこではビジネス言語としての会計を日本語・英語のDual Language Programにより修得します。

BATIC[®]700点を獲得するには簿記・会計の知識と技能に加えて英語力（とくにReading・Writing）が求められるため、TOEICなどの英語のスコアも同時に高まります。さらにファイナンス科目を配置し、2級ファイナンシャル・プランニング技能士（FP2級）の取得も目指します。これらの目標を確実に達成して「国際会計力」を身につけるために、国際会計科目とゼミナール科目で講義と演習によって学修を進めます。希望者は学修支援室を利用して試験対策を強化することも可能です。

おもなコース目標と目標達成に向けて軸になる科目は以下のとおりです。詳しい科目配置と学修目標は次ページおよび教育課程表で確認してください。国際会計科目に加えて英語で授業を展開する他コース科目を積極的に履修し、英語力を高めましょう。

BATIC [®] 700点	3年次	国際会計理論	財務会計論	国際会計ゼミナールA
BATIC [®] 320点	2年次	国際会計基礎	専門基礎ゼミナールA	
日商簿記3級	1年次	会計学		
FP2級	3年次	パーソナル・ファイナンス	国際会計ゼミナールB	
FP3級	2年次	基礎ファイナンス	専門基礎ゼミナールB	

2 コースの学びと将来のキャリア

会計はビジネスのあらゆる側面をデータで読み解く、世界共通の洗練されたツールです。ビジネスのコミュニケーションに会計の知識と技能は欠かせません。ビジネスのグローバルな進展と歩調を合わせるように、世界共通のルール作りも進み、まさにグローバル・ビジネスのインフラになっています。M&A（合併・買収）、コーポレート・ガバナンス、国際会計基準（IFRS）への対応といったさまざまなシーンで、会計スキルを身につけたビジネス・リーダーが求められています。会計科目に加えて密接な関連領域であるファイナンス科目の学修を進めることで、将来企業の意思決定に幅広く携わることができるようになります。

国際会計コースでは会計・ファイナンスの知識と技能の修得に加えて、論理的思考力、ビジネス・シーンにおけるコミュニケーション力の向上を図ります。

このコースの学びを通して、グローバル企業の財務・経理・企画部門、金融機関の担当者をはじめ、米国公認会計士（USCPA）、公認会計士、税理士等の専門職として、将来のキャリアを形成することができます。

3 科目配置と学修目標

各年次・セメスター別の開講予定科目と学修目標は以下のとおりです。セメスターを特定していない科目は当該年次の春学期または秋学期に開講する予定の科目です。目標達成に向けて、この表を確認しながら計画的に学修を進めてください。

	国際会計科目 (コース科目+関連科目) ゼミナール科目		学修目標
4年次	第7セメスター	第8セメスター	BATIC® 700点 ・FP 2級(～4年次1月) ・TOEIC 700点 ・資本構成、投資意思決定、M&A、リスク管理、NPVによるプロジェクト評価といったグローバル企業の経営に必須の知識・技能を身につける。 ・世界標準の会計・ファイナンスの知識・技能を活用してグローバルなコミュニケーションを円滑に図ることができる。
	管理会計論 コーポレート・ファイナンス 国際会計ゼミナールC 国際会計ゼミナールD		
3年次	第5セメスター	第6セメスター	・BATIC®320点(～3年次7月) ・FP 3級(～3年次1月) ・TOEIC 600点 (第6セメスター) ・世界標準で連結財務諸表を作成・分析できる。 ・資産運用、税金、保険、年金に関するプランニングを実践できる。 (第5セメスター) ・企業の連結財務諸表を作成できる。 ・会計・財務報告基準の国際的統合の意義・プロセスを知る。
	財務会計論	国際会計理論	
2年次	第3セメスター	第4セメスター	・TOEIC 500点 (第4セメスター) ・国際会計の基本思考を身につける。 ・具体的な事例を用いて基本的な財務分析の手法を身につける。 ・英語でビジネスの基本的な会計処理を実践できる。 (第3セメスター) ・企業経営における会計、経済、金融・ファイナンス分野の必要性と役割を知る。 ・会計、経済、金融・ファイナンス分野における基本語句の英語表記を知る。
		国際会計基礎	
1年次	第1セメスター	第2セメスター	・日商簿記3級(～1年次2月) ・TOEIC 450点 ・簿記の技法を身につけ、財務諸表を作成できる。
	会計学		

4 コース変更について

2年次秋セメスター終了時点で、他コースへの変更が可能です。ただし、履修および学修進捗状況に遅れがある場合、卒業時期が1セメスター以上先に延びる可能性があります。

マーケティング戦略コース

1 イノベーション&顧客創出力を身につけたマーケターの養成

マーケティング戦略コースでは日商販売士1級を取得するようにプログラムを設計しています。1年次の必修科目である基礎数学、経営統計学、マーケティングで基礎を固め、まず数学検定2級、統計検定2級の合格を目指します。2年次以降のコース科目では顧客が求める商品を提供したり顧客を創造したりするために求められる、世の中のニーズを的確にとらえる力を身につけます。ビジネスにデータを活用する数理能力、商品開発や新規プロジェクトの立ち上げなどで他者と協力するチームワーク、発想を形にする企画力・実践力の修得を図ります。

おもなコース目標と目標達成に向けて軸になる科目は以下のとおりです。詳しい科目配置と学修目標は次ページおよび教育課程表で確認してください。1年次に数学・統計学の基礎をしっかり身につけて、2年次以降の学修に臨みましょう。

日商販売士1級	3年次 マーケティング・リサーチ マーケティングゼミナールA マーケティングゼミナールB
日商販売士2級	3年次 消費者行動論 販売管理・流通 2年次 マーケティング戦略 専門基礎ゼミナールB
統計検定2級	2年次 専門基礎ゼミナールA 1年次 経営統計学
数学検定2級	1年次 基礎数学

2 コースの学びと将来のキャリア

起業家の新しいアイデアや思いつき、あるいは独自技術を、どのようにビジネス化してゆけばよいのか。ビジネスのイノベーションの出発点となるのはマーケティングです。マーケティングとは顧客のニーズやウオンツと企業活動/企業ビジョンとを結びつける活動であり、その目的は顧客に貢献することです。マーケティング戦略コースでは世の中のニーズの探索から商品・ブランド開発、広告販促、営業販売、流通物流、コミュニケーション、アフターケア、関係づくり等の企業のビジネス活動（市場創造活動）に関わる職務を遂行するためのマーケティングマインド（理念と思考）、およびビジネスセンスとスキルなどのマーケティング能力を形成します。

このコースの学びを通して、マーケター（企業のマーケティング担当者）、市場調査、営業販売、広告販促などのスタッフ、将来的には新規事業開発やマーケティングのコンサルタント、起業家を目指します。

3 科目配置と学修目標

各年次・セメスター別の開講予定科目と学修目標は以下のとおりです。セメスターを特定していない科目は当該年次の春学期または秋学期に開講する予定の科目です。目標達成に向けて、この表を確認しながら計画的に学修を進めてください。

	マーケティング戦略科目 (コース科目+関連科目) ゼミナール科目		学修目標
4年次	第7セメスター	第8セメスター	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">日商販売士 1級</div> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC 700点 ・マーケティング戦略を、自ら企画・立案できる。 ・マーケティングおよびビジネスに関連する英語文献を読んで理解できる。
	Marketing Communication New Product Management マーケティングゼミナールC マーケティングゼミナールD		
3年次	第5セメスター	第6セメスター	<ul style="list-style-type: none"> ・日商販売士2級（～3年次9月） ・TOEIC 600点 (第6セメスター) ・企業のマーケティング戦略を分析・評価できる。 ・市場調査を自ら企画・実施し、データを統計解析できる。 (第5セメスター) ・データの統計解析に必要な基礎知識を身につける。
	消費者行動論 販売管理・流通	マーケティング・リサーチ	
	マーケティングゼミナールA マーケティングゼミナールB		
2年次	第3セメスター	第4セメスター	<ul style="list-style-type: none"> ・統計検定2級（～2年次6月） ・TOEIC 500点 (第4セメスター) ・マーケティング戦略の基本的な体系を理解できていて、ゼミナール内で論理的に議論ができる。 ・英語の基礎的なビジネス文献を読むことができる。 (第3セメスター) ・マーケティングおよびビジネスに関連する基礎的な専門用語を十分に理解できている。 ・ゼミナール内で自身の考えを論理的に伝えることができる。
		マーケティング戦略	
	専門基礎ゼミナールA 専門基礎ゼミナールB		
1年次	第1セメスター	第2セメスター	<ul style="list-style-type: none"> ・数学検定2級（～1年次11月） ・TOEIC 450点 ・ビジネスに必要な数学・統計学とマーケティングの基礎を修得する。
	基礎数学	経営統計学	
	マーケティング		

4 コース変更について

2年次秋セメスター終了時点で、他コースへの変更が可能です。ただし、履修および学修進捗状況に遅れがある場合、卒業時期が1セメスター以上先に延びる可能性があります。

卒業要件

経営学部を卒業するためには、以下に示す図表に基づいて、卒業に必要な124単位を修得すると同時に、累積GPA（科目成績平均値）として、2.00以上を獲得しなければなりません。

GPAが重要視されるのは、中身をともなった形で単位を修得してほしいと考えるからです。現代は以前にもまして、クオリティ（質）が問われる時代です。就職や進学に際し、高評価の成績表に優る武器はないと肝に銘じておいてください。

- ① 修業年限を満たすこと
- ② 全科目の修得単位の合計が124単位以上あること
- ③ 累積GPAが2.00以上であること
- ④ ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修の7単位を修得していること
- ⑤ ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群2単位以上、社会科学科目群6単位以上（「会計学」2単位・「経営学」2単位・「マーケティング」2単位は必修）、自然科学科目群2単位以上、学際科目群2単位以上（「キャリア・マネジメント」2単位は必修）、言語表現科目群からは「ELF101～ELF402」で16単位以上を修得していること
- ⑥ 学部共通必修科目39単位をすべて修得していること
- ⑦ グローバルビジネスコース・国際会計コース・マーケティング戦略コースの各コースが指定する必修科目32単位をすべて修得していること
- ⑧ 自由選択科目（ユニバーシティ・スタンダード科目の必要単位数を超えた科目・自学科他コース科目・自学科選択科目・他学部他学科科目・他大学との単位互換科目）として18単位以上修得していること

1 卒業までの単位配分

○国際経営学科

科目群		必要単位 (GPA)	履修条件、および備考
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群	7単位	必修科目のみ 言語表現科目群ELF101～ELF402の中から必ず16単位以上修得すること。人文科学科目群から2単位、社会科学科目群から6単位、自然科学科目群から2単位、学際科目群から2単位、計12単位以上を修得すること。
	人文科学科目群	2単位	
	社会科学科目群	6単位	
	自然科学科目群	2単位	
	学際科目群	2単位	
学科科目	100番台科目	11単位	学部共通必修科目39単位をすべて修得していること。グローバルビジネスコース・国際会計コース・マーケティング戦略コースの各コースが指定する必修科目32単位をすべて修得していること。
	200番台科目	24単位以上	
	300番台科目	20単位以上	
	400番台科目	16単位以上	
自由選択	18単位以上	ユニバーシティ・スタンダード科目の必要単位数を超えた科目・自学科他コース科目・自学科選択科目・他学部他学科科目・他大学との単位互換科目18単位以上修得していること。	
卒業に必要な単位数	124単位以上		
卒業に必要なGPA数値	累積GPA2.00以上	卒業に必要な124単位を満たしていても、累積GPAが2.00未満の場合は、最短1セメスター卒業延期となる。	

2 卒業延期の場合の卒業要件

卒業延期となった場合には、第9 Semester以降、以下の条件を満たしたときに卒業となります。ただし、履修下限は2単位、履修上限は16単位です。

卒業に必要な124単位以上を修得したうえで、累積GPAが2.00以上となった場合

注意と警告

各Semesterで設定される履修条件や学修継続条件を満たさなければ、注意・警告の対象者となります。Semester毎に注意条件や学修継続条件が設定されているのは、節目にチェックすることによって、学習のクオリティ（質）を保てると考えているからです。履修条件や学修継続条件に抵触した場合、「注意」や「警告」の通知が保証人宛に送付されます。

履修条件と学修継続条件の抵触に関しては、以下の1～3を参考にしてください。アカデミック・アドバイスは、必要に応じて受けることができます。



1 履修条件（注意）と学修継続条件（警告）

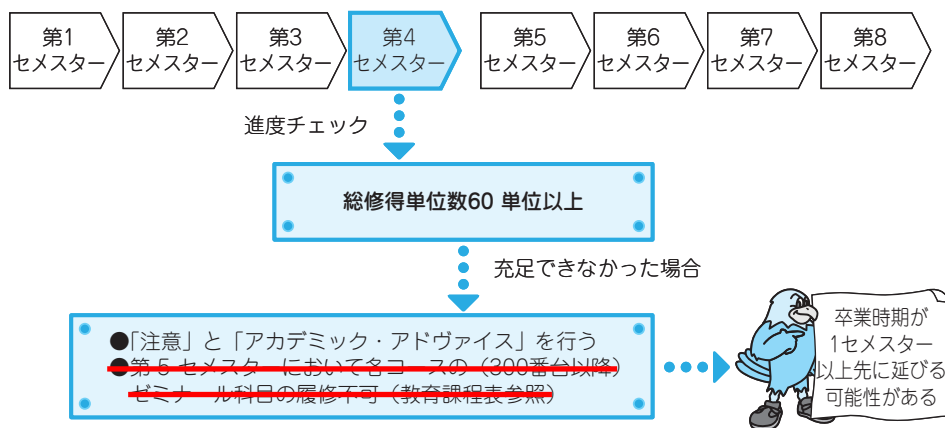
	注意の対象者		警告の対象者
	(1) Semester終了時の累積修得単位数が、下記の単位数未満の学生	(2) 累積GPAが下記の値未満の学生	
第1 Semester	15	2.20	学修継続条件のページ (p.24) 参照
第2 Semester	32		
第3 Semester	47		
第4 Semester	60		
第5 Semester	76		
第6 Semester	92		
第7 Semester	108		
第8 Semester	卒業不可能な学生	卒業不可能な学生	
卒業延期の場合の卒業要件	卒業に必要な124単位以上を修得したうえで、累積GPAが2.00以上となった場合、卒業可		

~~※第4 Semester 終了時までに、総修得単位数（累積単位数）が60単位未満の学生は、総修得単位数が60単位以上になるまで各コースの（300番台以降の）ゼミナール科目を履修できません（教育課程表参照）。その場合、卒業の時期が1 Semester 先に延びる可能性があります（3参照）。~~

2 アカデミック・アドバイス、履修条件（注意）および学修継続条件（警告）について

指導の種類	担当教員	内容
アカデミック・アドバイス	教務担当教員 教務主任	① 履修相談全般（履修方法、履修科目について） ② 履修計画に関するアドバイス ③ 履修状況の確認・注意（Semester修得単位数、累積単位数、累積GPA数値等） ④ 履修取り消しに関するアドバイス ⑤ 学修方法に関するアドバイス
注意	教務担当教員 教務主任	各Semesterで累積修得単位数が規定の単位数を下回った場合、あるいは、 修得科目 の累積GPAが2.20未満の場合に「注意」を行う。また、進度チェックに抵触した場合、および卒業不可の場合にも「注意」を行う（上記1 履修条件と学修継続条件の表参照）
警告	教務担当教員 教務主任	学修継続条件のページ (p.24) を参照 （上記1 履修条件と学修継続条件の表参照）

3 第4セメスター（2年次）終了時における進捗チェック



履修上の留意事項

1 履修パターン表を使った履修登録科目

1年次の必修科目、2年次の必修科目は、各自履修パターン表（履修ガイダンス時に配布）に従って履修登録をすることになります。

2 抽選科目

履修登録者数が教室の収容人数を超えた場合、抽選となる場合があります。もしも抽選にもれた場合には、教務担当教員の指示に従って履修登録の訂正をしてください。

3 変則的に履修登録を行う科目について

以下の科目に関しては、履修登録の方法が異なります。

	科目名	履修登録方法
国際経営学部	インターンシップA (2単位)	これらの科目は、主に夏期休暇中、および春期休暇中に開講されるため、セメスターの履修上限外の科目です。履修希望者は、セメスターの履修上限枠を超えて履修することができます。夏期休暇中に実施される場合は春セメスター中に、春期休暇中に実施される場合は秋セメスター中に履修者募集およびガイダンスが行われます。履修許可が出た学生は、科目担当教員の指示に従って下さい。これらの科目履修にあたっては、学部が定める一定の条件の充足および事前、事後の研修への参加が義務づけられています。なお、単位は次のセメスターで認定されます。
	インターンシップB (2単位)	

4 海外留学制度 (SAE プログラム) について

経営学部では原則として2年次以降、海外提携大学への半年間の留学が可能です。1年間の留学については、留学の時期により、可能な場合もあります。1年間の留学を希望する場合は、必ず教務担当教員に相談してください。ただし、応募するには指定された資格検定試験 (TOEFL、IELTS など) 等の規定を満たさなければいけない大学もあります。

海外の提携大学に留学し、単位を修得できた場合には、修得単位の中から本学のカリキュラムに対応する科目を、各セメスター16単位を上限に本学の卒業必要単位に充当させることができます。

なお、留学先で修得した単位が、科目の性質上本学の単位として認定されない場合もあります。

5 履修登録、および履修科目に関する質問がある場合

履修登録や履修科目に関して、質問がある場合には、下記の「質問内容」に関する表を参照の上、次の質問方法に従ってください。

■質問方法

- (1) 新入生ガイダンスや履修登録期間における「履修相談」の時間を利用する
- (2) 教員に直接面会して質問する
- (3) 教員に電子メールを利用して質問する

■質問内容

	確認しておくべきこと	質問先
履修登録方法に関すること	「Web履修登録操作ガイド (マニュアル)」	教務担当教員 教務主任
履修科目に関すること	「講義要覧」「シラバス」	教務担当教員 教務主任
個々の授業内容(使用テキスト、課題、 成績評価方法等)に関すること	「シラバス」	授業担当教員

(注) 「Web履修登録操作ガイド(マニュアル)」に関しては、UNITAMAの「履修に関するお知らせ」を参照